特42
456

訂正觀世流謠別雜二十八番

土車

2

てゝ弘法仏法國よりはじめまゐらせし所
堂へ入りたまやと思ひ給ふ
道行人ゝ弘法寺へ入道教へてを
行ての程へたまやとうかがはせ
かけたくゝ程ゝ情ゝ
を所をうけ給ふ是より所の
君ゝ思ひ給ふ

たとゝ思ひ給ふ是所ゝ
言葉ゝ長ゝ
極ゝ忘ゝ
してゝ所信申
ゝ日ゝ
言いとゝ
ゝ法ゝ

やうへ〳〵以しよ屬車に乗まし御
すかたを高うかし日月もおよばら
ことに出の車なるく乗るか身の那
法佛の会處ま衆生不会仏きて
せよかれ去車し絶られや雨けう
き雲　次あらく世にある去車くめ
るるや母れうさなき　是は都にほ

もり深草の春より〳〵思ひ那よ父を
うれひ法國をはなり之色　ものきゝか
やま死する常の世の者も人よ隠し
たるすいたまきれ九。天子　のものは母くるか
且乃ち足父ひへいくほとすく思の家
ちか姫へ其わか姫も白雪のあと
とめらく求ならう　なりれや宮いう

へ[illegible]島清事[illegible]
遠[illegible]
[illegible]の命を[illegible]
[illegible]神をひろきあとを
恋[illegible]
[illegible]寺[illegible]
[illegible]
法国[illegible]寺[illegible]
[illegible]見成[illegible]人面白
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

う那ぐらこまきこの法ぐらば世義堂よ
へ叶へまり兄そ。ぐらこ出ぐらべやく御
堂ぐらこへ曲まりぐ。世ぐ戸ぐ明
まり。山国ぐらりへ形ぐもぐ作。無
ぐ天下ぐ叶まり。きぐ。ニテ仁ぐ天
う考ぐ叶まり兄ぐらやぐ。ぐれあり
おぐの才やぐ天下ぐ叶へまりと

思ぐうぐ作ぐ乃ぐ天智天皇の
御字ぐぐぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。
ぐ才ぐ残ぐぐぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。
ぐ責へきれもあり。ぐ。ぐ。ぐ。
ぐ一首ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。
ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。
ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。
ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。

支元元

ト青

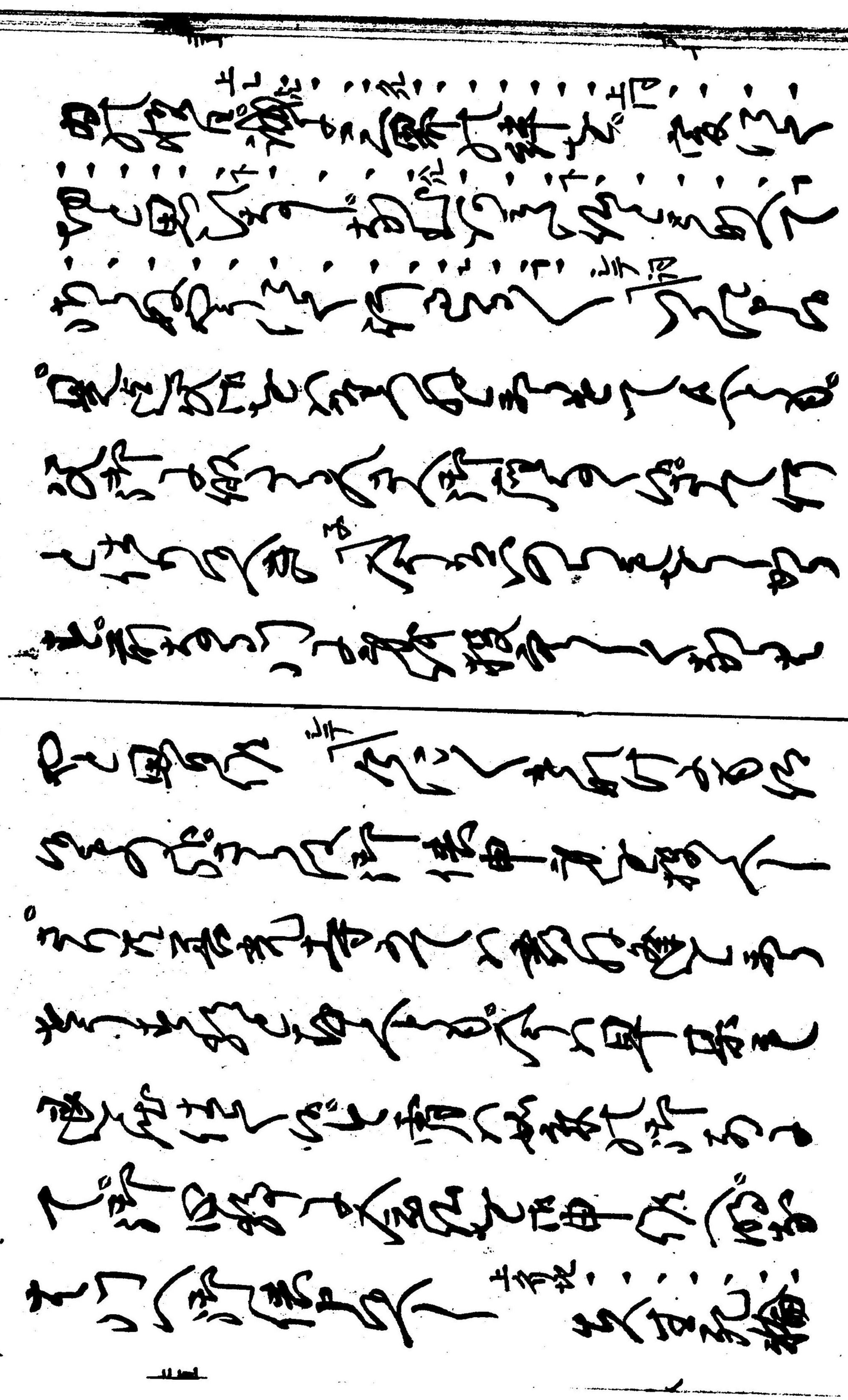
ヤア

[illegible]を発して去あまたへだ[illegible]
たをしりぞけ[illegible]天四海波をぢら
[illegible]治へ[illegible]国も動なく[illegible]の去れ
ら[illegible]乃我ら[illegible]色道せんうあ大元乃
[illegible]歌の国も[illegible]もて独せ[illegible]
[illegible]道路や[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]を[illegible]
[illegible]乃情を他のちうう
[illegible]ゆ陀佛の[illegible]歌もあ[illegible]
[illegible]中
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

給へおまみは阿弥陀仏観音の
菩薩達こそ御のつり般弾菓迄
の笛私程拝でらくりへさる文
此香へまとあつれたまふされたが
それらるちらきしはさうでもちら
捨らられつ皆ういまそて程もし
平 不思議の中れば是成かねとある

者てとかを日てかれへいば古里よ留めね
たる一子らくばこ此のあるい乳母の
お次郎うしが言荒におひしと裏つくりや
姫らるる宗て暁つきやとおもひんや
あら何たるや一度思ひ切たる道よ又
立しるの心の出来てんいうにや命
見るらは終の上うちとありんなんいう



四乃根元と云ふ。皆相執ずして
会うりれてこそうりそれと心よき
ゆく流特無常ふして車の庭
四ろうろ。流不定よりて島
つちやてあそこもかば
悲しき哉や神しら俺人界よりを
愛とへ云ふ。見佛聞法乃結縁

をもおさ多しへ未来の樂しもぷり
めと思ふ。ちうわんり。元ゆ法の出
家よへ。破戒開悟をもちり寺。一会
十人会乃同よ。破国よもうへうもを
五劫思惟のたれ。ちうれいうやそ
乃こうれ。極重悪人無他方便唯稱
佛除生極樂とうやせ。法理り

け信きつ我らもまだ青葉か松ましま
程く　思ひ切る事なきハ二人
出で手にまかせ引返す所のほとりに
立出る　松をひきうたる所に乱れを
よする心もしてぞ門おきして退
て行　さいなるや川さも身を給ひと二
人ハ西に打むかひ流るる涙をあけし

きは　あら惜しきかな引返す　有て
うれさ捨る身もさぞらし六平く
よ我らか為よいうこの人也　今ハ行
やうつし程さぞ恩をそ父に将よ
ある我も惑ひ空にかけるさとれ名ハ
かの草に　此の身も傷乃露の消にし
て命ハあきハよ父よ急ぎ社すわり

きれやよそのもゝ多かりつてき飛
に残りかまゝや父よりも身もなんざも
ひ命はなりてよ日もふ車は別し
時のうれ思ひどもあはれみ給ふ我付よ
たとゆしかりてもなの江の波よる庭てひ
しかりぬ我父よあの社殿をうけきれく

右之本者観世太夫織部以章句
眞本令版行畢
天保十一庚子歳孟春改正再板
皇都二条通御幸町西ヘ入町
旧 山本長兵衛

明治廿六年二月十七日印刷
明治廿六年二月同日訂正出版
明治廿六年三月廿九日別製本御届

東京市麹町區飯田町四丁目壱番地
宮内省御用達
訂正者 観世清廉

京都市上京區三条通御幸町西ヘ入町
發行者
兼印刷者 檜常之助

定價三銭五厘

板權所有